

進木

進木【すぎ】・・・「杉」の語源。ぐんぐんと上に向かって、まっすぐに進む木の様子。



第12号

2025年10月発行

“いじめ”っていい理由はな。 ★すぎ一ね

“いじめ”を改めていい理由 もない。 ~3年生 version~

3年生は9月9日に「いじめ防止授業」を実施しました。自分事としてはもちろん、クラスや学校としての視点から考える客観的な意見が多くみられました。さすが3年生、杉中学校を引っ張っていく、たいへん頼もしい存在です。一部ですが、3年生の生徒たちの振り返りを紹介します。

改めていじめの辛さやしんどさが伝わったし、いじめている人はもっと相手の気持ち(自分がしていることがどれだけ相手を傷つけているか)をもっと深く考えるべきだなと思っただけ。いじめがなく全員が生きやすい世界になってほしいです。

いじめは人の命を簡単に奪ってしまうものなので、なくしていくために、学校全体が動くことができればいいと思います。自分がいじめる側にならなければ、他の人がいじめる側にならなければいいような学校にできればいいと思います。

いじめは難しい。加害者を避けようとして無視をすれば、それがいじめになるか分からない。生理的に嫌いなこともあるし、先生にたづねると、あんなに嫌いな子もいない。いじめなんてやめたい。言葉だけでなく、糸田が1)規則をつくらなければいいのではないかな。

今クラスは、いじめが起きてないからこのままこの雰囲気が続けていけたらいいなと思った。一番大切なことは、相手の立場になって、きずかなく言葉で自分の意見を言うことだと思った。

いじめはダメなことだと分かってはいるが、相手の嫌な気持ちにならているのがくまでか、難しいと感じた。された側も、嫌なことは嫌だと言えるような関係で、それがいいと感じた。

今日字んたことから自分で言、近しい意見をいえるようになることか、お母さんでいい。人の親や友達で自分は何かないかとダメだと思っから自分で行動する大切さを学んだ。いじめをなくしたいようなクラスづくりをして、また、改めて意識できた。

今の時代ネットをしている人が多量で問題が多いけど、自己責任な部分が多いと思うから、どちらにもならないために下手に発言しなかったり客観的に考える力を身につけていきたいと思った。

クラスでいじめを考えたけど、例えば、自分がいじめかかると、あんなに無視されてしまった。それって、いじめの被害者になるのはよく分かった。今のクラスはいじめは少ないけど、一つのリーダーとして、困ったとき意見を出しにくいときに何かしらアクションをしてくれる人が、助けてくれる。クラスのルール的なものがあると、その人もわかる人を知りたい。！すばらしい！！

いじめはいい言えることが一番いいけど相手の関係がくずれるのがおそれながら言えないこともあるから、だれかがいじめを感じる状況をつくらないことが大切だと思った。

もし、目の前でいじめの予兆が起きていたら、始めはとまどいてしまうと思われ、被害者本人に声をかけずには、逃げてしまう時もあるかもしれないけれど、その人が自分たちと違って、勇気を振り絞って助けを求めた理由が、何人かいても、やっぱりわかると思えた。いじめは絶対に良くない。

今日の授業は、やっぱり皆成長している人だなと思いました。成長しているから新しい視点で考えることができていて、みんなの意見を聞いてもらうという考え方もあるんだと感じることができました。

ほかにも…

- ・ いじめについての授業は毎学期やっているけど、いつも改めていじめをなくすきっかけになっていると思うから、これからもこういった文化（習慣）は大切にしていきたいと思います。
- ・ いじめについて、多くの観点・視点からみて考えることができました。「いじめ」はあってはいけないことだし、こんな話（いじめ事例）は二度としたくないとも思いました。
- ・ その場のノリとかで友達をからかってしまうことが少なからずあるから、気を付けようと思った。
- ・ いじめをなくしていくためにも、行事などでより一層クラスの意気をよくしていければいいと思った。
- ・ いじめの授業をたくさんしてきたけど、いじめは一度傷ついてしまった心は絶対に治せないものだから絶対にしないことをずっと頭にたたきこんでいこうと思いました。



～目的～

いじめが身近にあることを意識して行動する。【ジリツ】
杉中でいじめをなくし、安心・安全な場にする。【共生・チャレンジ】

～応募方法～

- ①まなびポケット「いじめ防止ポスター」にPDFにて投稿
- ②デザインは自由（絵、イラスト、写真、文字など）
※作成方法は自由（タブレットアプリ、手がきなど）ですが、著作権や肖像権に十分配慮をして作成をお願いします。

～応募期間～

2025年10月14日（火）から12月19日（金）17：00まで

～審査方法～

教師と生徒による審査

～審査基準～

- ・ 誰が見ても傷つかないもの。
- ・ 「いじめ防止」のメッセージが込められたもの。
- ・ 著作権や肖像権に配慮しているもの。

～受賞作品～

応募の中から5作品を選び、選ばれた生徒は校長先生より表彰状の授与。杉中学校内および杉中小学校区に掲示をします。12月中に受賞作品を発表する予定です。
※第2回の入選作品は校内に掲示しています。

たくさんの応募をお待ちしています